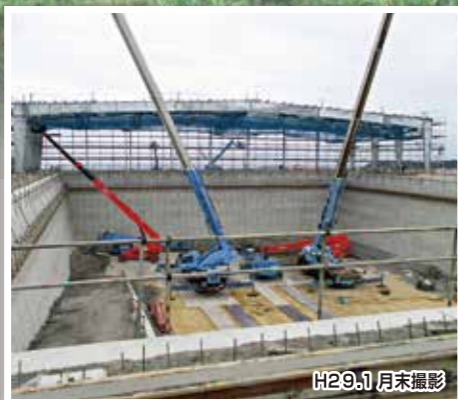


# 地域だより

サザンクリーンセンター推進協議会

## 本島南部25万人の生活を支える施設、 着々と工事進む!!



現在、南城市に建設中の一般廃棄物最終処分場は、南部地域(糸満市、豊見城市、南城市、八重瀬町、与那原町、西原町)の長年の課題でしたが、平成27年度からA棟の工事が始まり、平成29年1月より建屋の建築工事を行っています。

A棟は、平成30年度の完成を目指しており、完成後は続けてB棟の工事が始まります。

### 一般廃棄物最終処分場とは?

私たちの日常生活から出たごみは、焼却して処理しますが、それでも残った灰や細かく砕いた燃えないごみ・粗大ごみは最終処分場に埋立てて、環境基準値以下になるまで水で洗浄して最終的な処理を行う施設です。また、埋立完了後は、テニスコートなど屋内運動場としても利用することができます。

## 平成29年度サザンクリーンセンター推進協議会事業計画

事項	内容
理事会	一、平成28年度サザン協事業報告及び決算 二、平成30年度サザン協事業計画及び予算 三、最終処分場建設に向けた取り組み 四、長期計画に向けた取り組み(ごみ処理施設一元化)
幹事会	一、最終処分場建設に向けた取り組み 二、長期計画に向けた取り組み(ごみ処理施設一元化)
専門部会	一、第1部会(施設建設部会) ・長期計画に向けての検討 二、第2部会(地域振興財政部会) ・長期計画に係る財政計画の検討 三、第3部会(ごみ処理研究部会) ・ごみ減量化実践に向けた取り組み 四、第4部会(広域化研究部会) ・組織統合等の検討
情報提供	一、ホームページ及び広報紙を通じ住民へ情報提供
関係機関調整	一、一般廃棄物処理施設(ごみ処理施設・最終処分場)の整備に伴う国、県、市町及び関係機関との調整

平成29年度サザンクリーンセンター推進協議会歳入歳出予算 (単位:円)

区分	金額	内容
(歳入)		
繰越金	3,000,000	平成28年度繰越金
雑入	1,900,000	南部広域行政組合事務委託料
歳入計	4,900,000	
(歳出)		
推進対策費	4,770,000	役員、理事、住民委員報酬、旅費、広報紙印刷製本費、使用料など
予備費	130,000	
歳出計	4,900,000	

# ごみ焼却施設の一元化に向けた取組

平成28年8月に下記業者とごみ処理施設整備基本構想策定の業務委託契約を締結しました。基本構想では、将来、建設が予定される一元化ごみ焼却施設の規模や処理方式、概算事業費などを検討します。

今後は、サザン協の各部会において基本構想で示した内容をさらに掘り下げて検討していきます。

業務名：ごみ処理施設整備基本構想策定業務  
受注者：株式会社オオバ沖縄支店  
履行期間：平成28年8月26日～平成29年2月28日

## ★都市部(市街地)に立地するごみ焼却施設を視察★

平成28年11月にサザン協を構成する6市町の担当職員や3清掃組合職員と共に、住宅が密集する都市部にあるごみ焼却施設の管理運営や取組について視察しました。今回視察した施設は、余熱利用だけでなく環境対策や地域との信頼関係の構築に積極的に取り組んでおり、「住宅街に立地する施設」ということを強く意識していました。この視察で得た知識を活かして、将来の一元化ごみ焼却施設の整備に取り組んでまいります。



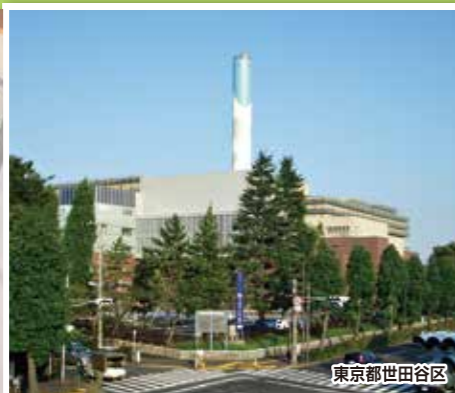
## ヨーロッパの古城の様な外観のごみ焼却施設！

「良い建物にしてほしい」と住民からの要望で、中世ヨーロッパのお城をイメージしたデザインの施設は地域のランドマークとなっている。また、ごみ焼却施設に必要な計量機、洗車場、待機車路などを建物内に収めた構造なので臭気対策や景観への配慮にも工夫している。

さらに、煙突には展望台(高さ80m)を設けて無料開放しており、遠くに富士山や東京スカイツリーも見ることが出来る。また、元旦には初日の出を見るため多くの人を訪れる人気スポットとなっている。



## 周囲は住宅や幹線道路..まさに街のど真ん中にあるごみ焼却施設！



施設の周辺は住宅街なので、臭気対策として敷地内に緩衝緑地の設置や、ごみ搬入時にパッカー車が周辺の一般道路で渋滞するのを防ぐため、敷地内のパッカー車の周回路を長く設計(施設入口から入ってきたパッカー車は建物を一周してからごみ投下ピットに入る)するなど様々な工夫を行っている。

# 組合の組織統合に向けた取組

平成28年度より、南部広域行政組合内に新炉建設準備室を新たに設置し、南部広域行政組合と3清掃組合の組織統合に関する事務やサザン協の「長期計画」であるごみ焼却施設の一元化に向けた取組を進めてきました。

## サザン協の「長期計画」ってどんな計画なの？

サザン協の「長期計画」とは、南部地域にある3つの清掃組合と南部広域行政組合を組織統合・再編することで意思決定の一元化や効率的な組織運営を図るとともに、将来的には、2つのごみ焼却施設を1つにまとめた一元化ごみ焼却施設を建設し、平成39年度を目途に供用開始する計画です。



## ★構成市町村議会への説明★

組合の組織統合は、平成30年度4月1日を目指して取り組んでおりますが、組合の組織統合は組合を構成する全ての市町村議会の議決が必要なことから、平成28年9月から10月にかけて、南部広域行政組合と3清掃組合を構成する15市町村議会へ組合の組織統合に関する事前の説明を行いました。



## ★サザン協広域化研究部会(第4部会)や事務局連絡会での協議★

組合の組織統合に向けて広域化研究部会(南部広域行政組合と3清掃組合の担当職員)や事務局連絡会(南部広域行政組合と3清掃組合と構成市町村の担当職員)を定期的に開催して、統合までの業務内容や工程の確認、統合後の組織体制や市町村負担金の算出方法の検討、事務のすり合わせなどの協議を重ねてきました。

